

## 「YRC 横浜市資源循環推進プラットフォーム」

### キックオフイベント開催

～脱炭素循環経済へ向けて本格的に始動～

「Circulating Value」をコンセプトに、国内有数の廃棄物再資源化設備等を有しフィリピンをはじめとする海外事業を展開する株式会社グリーン(本社:神奈川県横浜市金沢区 代表:藤枝慎治)が参画する「横浜市資源循環推進プラットフォーム」のキックオフイベントが2024年11月27日に開催されました。経済産業省、環境省、横浜市に加えてZACROS株式会社、J&T環境株式会社、レコテック株式会社及び当社が登壇し、脱炭素社会の実現と循環型経済の推進に向けてのディスカッションが行われました。

#### ■「横浜市資源循環推進プラットフォーム」キックオフイベント概要

2024年11月27日に「横浜市資源循環推進プラットフォーム」キックオフイベントがVlag Yokohama(横浜市神奈川区鶴屋町1丁目41番 THE YOKOHAMA FRONT42階)にて開催されました。

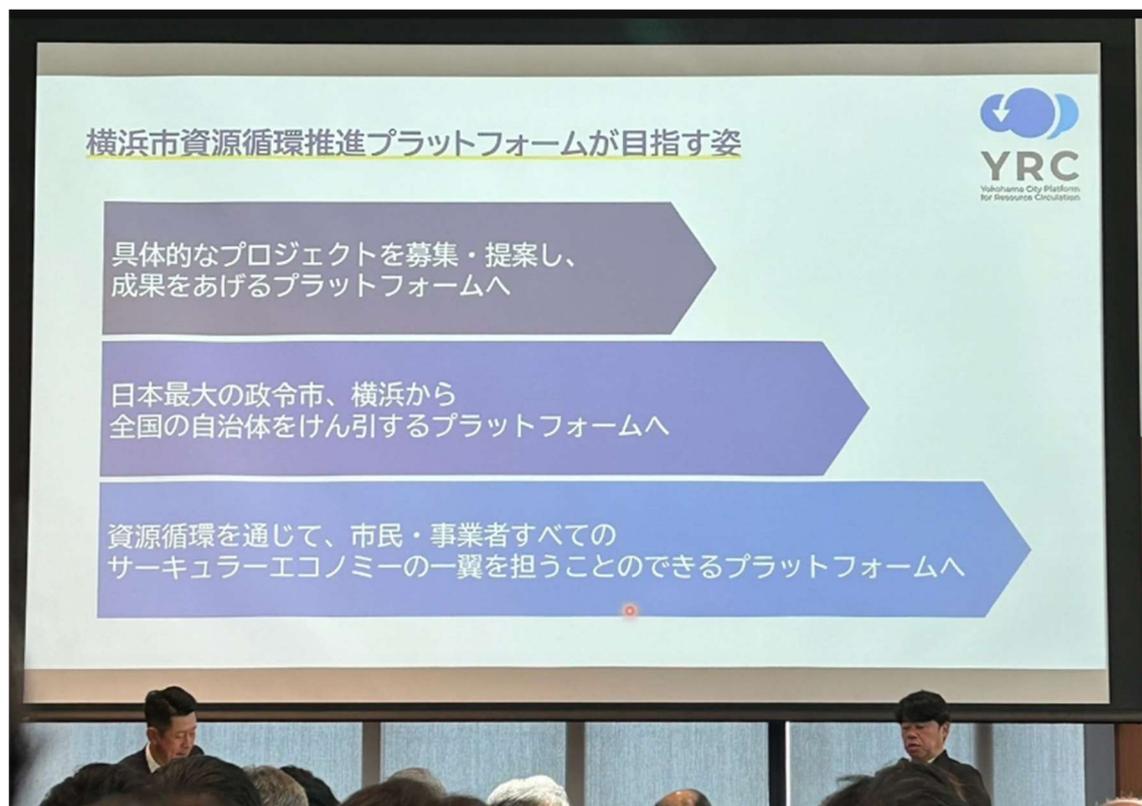
本プラットフォームは横浜市と当社を含む市内の廃棄物処理業者7社が中心となり2024年10月15日に発足、製品の製造などを行う「動脈産業」と製品が廃棄物等になった後にリサイクルを行う「静脈産業」が連携し、資源循環産業の活性化を目指しています。このイベントには約160人が参加し、循環型社会の未来についての講演やパネルディスカッションが行われ、本プラットフォームの本格的な始動を宣言する場となりました。

#### ■ 第1部「プラットフォームが目指す姿」(株式会社グリーン)

第1部では、横浜市資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長の大島貴至氏と弊社会長藤枝慎治とが登壇し、「プラットフォームが目指す姿」と題し本プラットフォームの役割や目標について表明しました。

本プラットフォームが掲げる3つの目標

- ①具体的なプロジェクトを募集・提案し、成果を上げるプラットフォームへ
- ②日本最大の政令市、横浜から全国の自治体をけん引するプラットフォームへ
- ③資源循環を通じて、市民・事業者すべてのサーキュラーエコノミーの翼を担うことのできるプラットフォームへ



## ■ 第2部 ①「製造メーカーとしての廃棄物削減と現状」(ZACROS 株式会社)

第2部では、最初に ZACROS 株式会社 武田和馬氏が登壇し事業の紹介や2030年までの環境への取り組みについて話しました。ZACROS 株式会社は偏光板保護フィルムとバックインボックスは世界トップシェアで、シャンプーやリンスなどの詰め替え用パウチとトンネル用防水シートの国内トップシェアを誇る企業。同社は循環型社会の実現に向けて、リサイクルしやすい単一素材の製品開発やバイオマス素材・リサイクル素材の積極的な採用を行っています。

武田氏は「横浜市との連携で、地域特性を活かした資源循環モデルを確立し、他都市への展開を目指します」と本プラットフォームへの積極的な参加を表明しました。

## 横浜事業所の2030年までの環境への取り組み



### 低炭素社会実現へ貢献

【CO<sub>2</sub>排出量削減】  
エネルギーを無駄なく利用するコト/モノづくりで地球温暖化防止に貢献

2030年までに50%↓

### 循環型社会実現へ貢献

【廃棄物量削減】  
資源を無駄なく利用するコト/モノづくりで、有限な資源を大切に活かし循環させる取り組みを推進

2030年までに30%↓

### 自然共生社会実現へ貢献

【VOC削減】  
地球環境に調和したコト/モノづくりで、環境負荷を下げ、生態系の保全に貢献

2030年までに30%↓

(2014年比)

【実施事項】	【削減累計】	【完了年】
圧縮エアーの効率化	10%↓	2024
工場棟屋根の遮熱処理		2025
温湿度の最適化	40%↓	2027
冷凍機の効率化		
環境対応型ラミネーター導入	50%↓	2029

【実施事項】	【削減累計】	【完了年】
破砕機導入	79%↓	2024
リサイクル設備		2026

【実施事項】	【削減累計】	【完了年】
環境対応型ラミネーター導入	37%↓	2024
環境対応型ラミネーター導入	74%↓	2025
2台目		

13

Copyright (C) ZACROS Corporation. All Rights Reserved.

## ■ 第2部 ② 「J&T 環境が取り組む脱炭素型資源循環事業について」 (J&T 環境株式会社)

第2部では J&T 環境株式会社代表取締役長谷場洋之氏が廃プラスチックリサイクル施設「J サーキュラーシステム」の概要や食品リサイクル・発電事業についての説明を行いました。また横浜市と連携し、使用済ペットボトルを原料化して新たなペットボトルに生まれ変わらせる「ボトル to ボトル」リサイクルの実証実験についても触れ、今後も横浜市との連携を続け資源循環の実現に向けて取り組む旨を述べました。

## ■ 第2部 ③ 「動脈産業を繋ぐ DX」 (レコテック株式会社)

第2部の最後にレコテック株式会社代表取締役野崎衛氏が資源循環の DX(デジタルトランスフォーメーション)化の重要性について説明しました。同社は廃棄物の見える化を軸に、廃棄物計量管理システム「pool」を開発し効率的な資源循環を推進しています。

### ■ 第3部「環境と経済の両立に向けた挑戦」パネルディスカッション

第3部では、以下6名が登壇し「環境と経済の両立に向けた挑戦」についてパネルディスカッションが行われました。

- ・経済産業省 GX グループ 資源循環経済課長 田中将吾氏
- ・環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課長 松田尚之氏
- ・株式会社グリーン 代表取締役 藤枝慎治氏
- ・J&T 環境株式会社 代表取締役 長谷場洋之氏
- ・レコテック株式会社 代表取締役 野崎衛氏
- ・ZACROS 株式会社 横浜事業所 次長 萱野悦二氏

### ■ 新規プロジェクト募集開始

本プラットフォームでは、2024年11月27日からYRCプラットフォームで取り組みたいプロジェクトや議論したい課題・テーマの募集を開始しています。エントリーいただいた内容に基づき、事務局を通じて企業のマッチングやプロジェクト化に向けてのご提案等を行います。事務局では、課題整理のお手伝い、プロジェクト案作成のフォローアップについても対応致しますので、エントリーフォーム又はお問合せフォームよりお問い合わせください。

【横浜市資源循環推進プラットフォーム ホームページ】

Web:<https://yrc-platform.my.canva.site>

【横浜市資源循環推進プラットフォーム エントリーフォーム】

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScJemevRgygGLkaqCbP\\_JzxwfKdWqf5bkWeO132VOHcpvDxfg/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScJemevRgygGLkaqCbP_JzxwfKdWqf5bkWeO132VOHcpvDxfg/viewform)

---

## 会社概要



### 株式会社グーン

代表取締役 藤枝 慎治

設立 2001年3月

資本金 5,500万円

業務内容 産業廃棄物・一般廃棄物処理

(廃プラスチック類、木くず、繊維くず等)、  
フラフ燃料製造、再生プラスチックペレット製造、  
木質チップ燃料製造、木質ボード原料製造、資源  
循環コンサルティングなど

Web <http://www.guun.co.jp/>

---

### 取材等のお問合せ先

株式会社グーン 広報グループ 大木

電話番号:045-228-8960

Email : m\_ohki@guun.co.jp